



KONICA MINOLTA

コニカミノルタホールディングス株式会社
2012年（平成24年）3月期 第3四半期 株主通信 PDF

コニカミノルタ ホールディングス株式会社 2012年(平成24年)3月期 第3四半期 株主通信

業績予想などに関する内容について

この株主通信に記載されている当社の現在の計画・戦略および将来の業績見通しは、現在入手可能な情報に基づき、当社が現時点で合理的であると判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績はさまざまな要素によりこの株主通信の内容とは異なる可能性のあることをご承知ください。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の2012年3月期第3四半期連結累計期間(2011年4月1日から同年12月31日まで)の連結業績の概要をご高覧いただけにあたり、ご挨拶申し上げます。

当期間は、情報機器事業において、第1四半期は東日本大震災に起因した部材の調達難による販売機会ロスが発生しましたが、第2四半期以降は調達及び生産活動が通常の体制に戻り、オフィス分野、プロダクションプリント分野ともに高採算のカラー機の販売が国内外で好調に推移しました。オプト事業では、HDD用ガラス基板や光ディスク用ピックアップレンズ、デジタルカメラ用レンズユニットなど光学関連製品は、昨年夏からの顧客先での生産調整やタイ洪水の影響を受けて総じて販売は低調に推移しましたが、薄膜・広幅タイプの液晶偏光板用TACフィルムは当期間を通して堅調に推移しました。ヘルスケア事業では、新製品効果もあって医療用デジタル入力機器は前年を上回る販売台数となりましたが、フィルム製品は日本など先進国市場での需要減少により伸び悩みました。これらの結果に円高の影響も加わり、当期間における連結売上高は前年同期比2.6%減収の5,603億円、営業利益は同17.6%減益の232億円となりました。

一方、直近3ヵ月の業績を示す第3四半期連結会計期間(2011年10月1日から同年12月31日まで)につきましては、情報機器事業並びにオプト事業における主力製品の好調な販売が牽引して事前の会社想定を上回る収益水準を達成し、売上高は概ね前年並みの1,820億円、営業利益は円高やタイ洪水影響を吸収して前年同四半期比36.0%増益の76億円となりました。

当期の業績見通しにつきましては、昨年末来定着している超円高やギリシャ債務問題に端を発する欧洲不安など予断を許さない状況にはありますが、以上のような4月から12月の業績進捗の状況、とりわけ第2四半期、第3四半期と着実に回復してきた収益モメンタムを踏まえ、昨年10月28日に公表しております『売上高:7,800億円、営業利益:400億円』の業績予想を据え置きました。

当社は2011年4月、「Growth(成長)」をキーワードに2012年3月期(2011年度、当期)から2014年3月期(2013年度)までの3カ年を計画期間とする中期経営計画『Gプラン2013』を策定しました。先行き不透明な事業環境ではありますが、当社グループの将来にわたって持続した成長の実現を目指し、スピードをあげて本計画の諸施策を実行してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2012年2月

コニカミノルタホールディングス株式会社
代表執行役社長
松崎 正年

(単位:億円、未満切捨)

	第1四半期 (2011年4月1日～ 同年6月30日)		第2四半期 (2011年7月1日～ 同年9月30日)		第3四半期 (2011年10月1日～ 同年12月31日)		第3四半期(累計) (2011年4月1日～ 同年12月31日)	
	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減
売上高	1,862	△84	1,921	△50	1,820	△14	5,603	△149
営業利益	32	△65	123	△4	76	20	232	△49
経常利益	25	△38	90	△24	73	29	188	△33
四半期純利益 (△は損失)	△1	△36	38	△12	16	△5	53	△53



ハイライト

(単位:億円、未満切捨)

	2012年3月期 第3四半期末	2011年3月期末	増減
総資産	8,542	8,454	87
負債	4,407	4,164	242
純資産	4,134	4,289	△154



(単位:億円、未満切捨)

	第1四半期 (2011年4月1日～ 同年6月30日)		第2四半期 (2011年7月1日～ 同年9月30日)		第3四半期 (2011年10月1日～ 同年12月31日)		第3四半期(累計) (2011年4月1日～ 同年12月31日)	
	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減	実績	対前年 増減
営業活動による キャッシュ・フロー	119	45	261	17	108	32	490	95
投資活動による キャッシュ・フロー	△113	△26	△107	△2	△91	53	△312	24
フリー・キャッシュ・ フロー	6	19	153	14	17	85	177	119
財務活動による キャッシュ・フロー	△14	13	△69	△19	309	11	225	5

情報機器事業およびオプト事業がグループ業績を牽引し、増益を達成。

売上高

1,820 億円(前年同四半期比 △0.8%)
(為替影響除く +3.8%)

営業利益

76 億円(前年同四半期比 +36.0%)
(為替影響除く +81.5%)

売上高・営業利益：当四半期は円高やタイ洪水の影響を少なからず受けましたが、情報機器事業のプロダクションプリント機やオフィスカラー機の販売増に加えて、昨年度より体制を強化しているサービス事業やグローバル顧客へのアプローチによる販売拡大、オプト事業での視野角拡大用VA-TACフィルム新製品の今年度初頭からの好調な販売などにより増益となりました。

売上高

1,820 億円(前年同四半期比 △0.8%)
(為替影響除く +3.8%)

営業利益

76 億円(前年同四半期比 +36.0%)
(為替影響除く +81.5%)

経常利益：営業外損益は、3億円の費用超過により、73億円（前年同四半期比+67.0%）となりました。

四半期純利益：税金等調整前四半期純利益は、情報機器事業の構造改革費用11億円の特別損失計上等により、56億円（前年同四半期比+20.7%）となりました。四半期純利益は、法人税率引下げに伴う影響15億円などにより、16億円（同△23.5%）となりました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

円高や震災、タイ洪水の影響を受け、減収減益。

売上高

5,603 億円(前年同期比 △2.6%)
(為替影響除く前年同期比 +1.3%)

営業利益

232 億円(前年同期比 △17.6%)
(為替影響除く前年同期比 △1.7%)

売上高・営業利益：東日本大震災やタイの大規模洪水の影響による一部部材の調達難や、長期化する為替の円高など厳しい事業環境が続く中、情報機器事業は増収を確保しましたが、営業利益ではこれらの影響を全て挽回するには至らず減益となりました。オプト事業は、液晶偏光板用TACフィルムが当期間を通して堅調に推移したものの、光学レンズ関連が顧客の調整やタイ洪水の影響を受け、減収微減益となりました。

経常利益

188 億円

(前年同期比 △15.2%)

四半期純利益

53 億円

(前年同期比 △50.0%)

経常利益：営業外損益において円高に伴う為替差損の計上等により43億円の費用超過となり、前年同期比△15.2%の188億円となりました。

四半期純利益：税金等調整前四半期純利益は、投資有価証券評価損や情報機器事業の国内販売部門及びオプト事業の国内生産部門の構造改革に係る費用計上等により、140億円（前年同期比△13.6%）となりました。四半期純利益は、法人税率引下げに伴う影響を織り込み、53億円（同△50.0%）となりました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

【情報機器事業・3ヶ月】

<2011年10月1日～2011年12月31日>

オフィス分野、プロダクションプリント分野共に販売好調を維持し、増収増益。

売上高

1,319 億円(前年同四半期比 +1.2%)
(為替影響除く +6.9%)

営業利益

93 億円(前年同四半期比 +46.3%)
(為替影響除く +78.9%)

オフィス分野	「bizhub (ビズハブ)」シリーズのA3MFP販売台数は、カラー機が日米欧他の全地域で販売好調を牽引し、A3MFP全体でも前年同四半期を上回りました。一方、販売力強化を進めるOPS (オプティマイズド・プリント・サービス) では高級ブランド小売業のLVMH社 (モエヘネシー・ルイヴィトン) から事務機器運用管理を受託するなど、グローバルに事業展開する大口顧客の獲得も着実に進んでいます。またOPSのグローバル体制の核となるITサービス力強化に向け、米国のColdCypress社 (本社:ペンシルバニア州) を買収する等、一昨年12月に当社グループの傘下に入ったAll Covered社の下で、北米内のITサービス網の拡充に努めました。
プロダクションプリント分野	新シリーズ「bizhub PRESS (ビズハブプレス) C8000/C7000/C6000」のカラー機3機種に加え、モノクロ機も販売台数は前年同四半期を大きく上回り、企業内印刷や商業印刷向けの販売が好調に推移しました。

【情報機器事業・9ヶ月累計】

<2011年4月1日～2011年12月31日>

震災やタイ洪水、円高を吸収して増収を確保。営業利益は、第1四半期の減益影響が残るもの、第2四半期以降は収益モメンタムが回復。

売上高

4,008 億円(前年同期比 +1.1%)
(為替影響除く前年同期比 +5.7%)

営業利益

246 億円(前年同期比 △5.2%)
(為替影響除く前年同期比 +3.4%)

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

【オプト事業・3ヶ月】

<2011年10月1日～2011年12月31日>

メモリー分野や画像入出力分野は、タイ洪水や生産調整の影響を受けるが、TACフィルムが堅調に推移し、減収ながら増益を達成。

売上高 **277** 億円

(前年同四半期比 △8.3%)

営業利益 **24** 億円

(前年同四半期比 +21.6%)

ディスプレイ部材分野	新製品を投入したVA-TACフィルムの販売が韓国及び台湾向けに好調に推移しました。また薄膜タイプ、超広幅のTACフィルムも堅調に推移し、TACフィルム全体の販売数量も前年同四半期を上回りました。
メモリー分野	HDD用ガラス基板は、PCメーカーでの生産調整とHDDセットメーカーのタイ洪水被災により、販売数量は前年同四半期を下回りました。光ディスク用ピックアップレンズは、DVD用が前年同四半期の販売数量を上回りましたが、ブルーレイディスク用は市況が好転せず、全体の販売数量は前年並みの水準に留まりました。
画像入出力分野	デジタルカメラ・ビデオ向けレンズユニットは、タイ洪水の影響を受けた一部顧客からの受注が停滞し、販売数量は前年同四半期を下回りました。一方、カメラ付携帯電話用光学ユニットは、レンズユニットが受注増となり、販売数量が前年同四半期を上回りました。

【オプト事業・9ヶ月累計】

<2011年4月1日～2011年12月31日>

TACフィルムは販売好調を維持するが、その他は生産調整やタイ洪水の影響を受け、減収微減益。

売上高 **911** 億円

(前年同期比 △8.3%)

営業利益 **96** 億円

(前年同期比 △3.5%)

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

【ヘルスケア事業・3ヶ月】

<2011年10月1日～2011年12月31日>

医療用デジタル入力機器は販売増となるが、フィルム販売の減少により伸び悩む。

売上高

172 億円

(前年同四半期比 △1.9%)

営業利益
(△は損失)**△2** 億円

当第1四半期より販売を開始した、医療用デジタル入力機器のカセット型DR（デジタルラジオグラフィー）「AeroDR（エアロディーアール）」及び卓上型CR（コンピューテッドラジオグラフィー）「REGIUS Σ（レジウスシグマ）」の新製品2機種の国内外での拡販に努めた結果、デジタル機器の販売台数は前年同四半期を上回りました。一方、日本をはじめとする先進国市場での需要減少が続くフィルム製品は、中国を中心とした新興国市場での拡販に努めましたが、加速するフィルムレスの流れに歯止めが効かず、販売数量は前年同四半期を下回りました。

【ヘルスケア事業・9ヶ月累計】

<2011年4月1日～2011年12月31日>

フィルムレス化の加速に加え、円高や銀価格高騰により減収減益。

売上高

519 億円

(前年同期比 △17.0%)

(旧グラフィック事業を除く実質増減 △6.3%)

営業利益
(△は損失)**△5** 億円

※ 2010年度第2四半期累計には旧グラフィック事業を含む（2010年度第3四半期以降は情報機器事業に編入）

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。



流動資産は、売上減少に伴う売上債権の減少や、繰延税金資産が減少した一方で、有価証券やたな卸資産等が増加したことにより、前期末比で257億円の増加となりました。固定資産は、有形固定資産、無形固定資産共に、償却が進んだこと等により同169億円の減少となりました。



負債は、主に社債発行に伴う有利子負債の増加により前期末比で242億円の増加となりました。純資産は、主にその他の包括利益累計額合計が円高に伴う為替換算調整勘定の変動等により減少し、同154億円の減少となりました。

※ 億円未満を切り捨てて表示しております。

トピックス

経営関係



米国における一連の企業買収により情報機器事業を強化

プレスリリース：http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/1110_01_01.html



フィリップス エレクトロニクス ジャパンと直管形LEDランプのオフィス向け販売協力で合意

プレスリリース：http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0123_02_01.html

事業関係



カラー複合機の最上位モデル「bizhub C754/C654」、オールインワンA4カラー複合機「bizhub C25」新発売

プレスリリース(1)：http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/1110_01_01.html

プレスリリース(2)：http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0112_01_01.html

<製品情報>

bizhub C754/C654:

http://www.konicaminolta.jp/business/products/copiers/color/bizhub_c754_c654/index.html

bizhub C25: http://www.konicaminolta.jp/business/products/copiers/color/bizhub_c25/index.html



カラー複合機の最上位モデル「bizhub C754/C654」、オールインワンA4カラー複合機「bizhub C25」新発売

プレスリリース(1)：http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/1110_01_01.html

プレスリリース(2)：http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/1121_01_01.html

<製品情報>

bizhub PRO C6000L:

http://www.konicaminolta.jp/business/products/copiers/hi-speed_color/bizhub_pro_c6000l/index.html

bizhub PRESS C70hc:

http://www.konicaminolta.jp/graphic/products/ondemand_print/color/c70hc/index.html



有機EL照明を含む次世代照明の新ブランドを「Symfos(シンフォス)」に決定

プレスリリース：http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/1003_02_01.html

製品情報：<http://www.konicaminolta.jp/oled/index.html>



デジタルX線撮影装置「AeroDR」、卓上型CR装置「REGIUS Σ」、カラースキャナー搭載A4モノクロ複合機「bizhub 36」が2011年度グッドデザイン賞を受賞

プレスリリース(1)：http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/1003_01_01.html

プレスリリース(2)：http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0124_01_01.html

<製品情報>

bizhub 36: <http://www.konicaminolta.jp/business/products/copiers/bw/bizhub36/index.html>



演色性評価に最適な分光放射照度計「CL-500A」新発売

プレスリリース：http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/1220_01_01.html

製品情報：<http://www.konicaminolta.jp/instruments/products/light/cl500a/index.html>

トピックス

事業関係



「コニカミノルタプラネタリウム“天空”」オープニング記念作品「星空は時を越えて」

プレスリリース : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0123_01_01.html

施設情報 : <http://www.planetarium.konicaminolta.jp/>

CSR関係



コニカミノルタ(イギリス)が「グリーンアップル賞」受賞

プレスリリース : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/1128_01_01.html



エプソン販売と物流に関する包括的協業を開始

プレスリリース : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/1003_03_01.html



『エコプロダクト2011』へ出展

プレスリリース : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/1215_01_01.html

展示報告 : <http://www.konicaminolta.jp/about/csr/environment/communication/ecopro/>

その他



『宇宙から見たオーロラ展2012』開催

プレスリリース : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2011/1208_01_01.html

展示詳細 : <http://www.konicaminolta.jp/plaza/schedule/2012january/aurora/>



「平成23年度コニカミノルタ画像科学奨励賞」受賞者が決定

プレスリリース : http://www.konicaminolta.jp/about/release/2012/0120_01_01.html

コニカミノルタ科学技術振興財団 :

<http://www.konicaminolta.jp/about/csr/contribution/corporation/research/foundation/index.html>



コニカミノルタテクノロジーレポート2012年版(Vol.9)公開

テクノロジーレポート:

http://www.konicaminolta.jp/about/research/technology_report/2012/index.html